

第 60 回東京馬術大会

THE 60th TOKYO EQUESTRIAN GAMES

ご協賛趣意書



主催：「東京馬術大会」組織委員会

主管：公益社団法人 東京乗馬倶楽部



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

第 60 回東京馬術大会

—ごあいさつ—

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より馬術並びに馬事普及に、格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

●はじめに

本大会の運営を主管する『公益社団法人 東京乗馬倶楽部』は、1921 年 3 月に官民合同の倶楽部として設立されて以来、93 年の長きに渡りましてわが国の馬事文化の育成と振興に努めてまいりました。第 4 回国民体育大会（1949 年）をはじめ、数々の馬術大会の開催に加え、国民体育大会、全日本選手権大会などの主要な馬術競技に当倶楽部会員が出場、活躍したほか、世界選手権やローマ、東京、メキシコ、ソウル、北京のオリンピック大会にも選手・監督を輩出し、わが国の馬術界振興に多大な貢献をしてまいりました。

また、2013 年 4 月 1 日からは、公益社団法人としての認定を頂戴しまして、馬事普及に資する活動である本大会の運営にはこれまでも増して力を入れている所でございます。



第 4 回国民体育大会の様子
(於：東京乗馬倶楽部)

●東京馬術大会とは



『東京馬術大会』は今年で 60 回の節目を迎え、国内で最も長い歴史を誇る馬術競技会の一つとして愛好家にはその名を広く知られているものです。

皇室とも所縁が深く、昭和 26 年の大会では、当時の皇太子明仁親王殿下が、中障害飛越競技に峯雪号にてご出場されるなど、宮様のご台臨を重ねて頂戴しており、最近では第 50 回大会（2004 年）にて秋篠宮文仁親王同妃両殿下にお成りをいただいております。

第 51 回大会（2005 年）から第 59 回大会（2013 年）までは、国際馬術連盟（FEI）公認の競技会として CDI ***（シーディーアイ・スリースターズ）を併催し（第 57 回では震災の影響で中断）、日本に居ながらにしてオリンピックや世界選手権に次ぐ開催基準を満たし、世界で二十数名しかない FEI 国際審判員による世界基準の採点にふれる貴重な機会として、国内トップ選手の世界へ向けた活躍を応援して参りました。

また、第 56 回大会（2010 年）からは、身体の不自由な方々の馬場馬術競技である「パラ馬術」を、国内で先駆けて競技種目に組み入れることで、ハンディキャップを持ちながら馬術を愛する選手に、等しく競技会を楽しめるよう機会を拡げております。

第 60 回となる今回は、『東京馬術大会』の伝統を記念する大会として、格別な思いをめぐらせつつ運営準備を進めております。使用会場の都合により、残念ながら今回は CDI *** としての競技は実施できませんが、これまでの大会同様に国際審判員をお招きし、日本に居ながらにして質の高い世界基準の採点に触れる機会を選手の皆様にご提供できるよう手配しているところです。

出場選手の皆様をもちろん、ご観覧にいらっしゃる皆様にもより馬術競技会をお楽しみいただける大会を目指して鋭意準備を進めております。



前回大会の様子（インドア表彰式にて）

※ CDI とは、Concours de Dressage Internationale（国際馬場馬術大会）の略称であり、それに続く *** は開催レベルを表します。



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

第 60 回東京馬術大会

●馬場馬術の祭典をめざして

大会会場は日本中央競馬会（JRA）様のご協力により毎年 JRA 馬事公苑（世田谷区）にて開催しております。スポンサー各社のご協力によって、会場内には多様なブース出店を設け、華やかなものとし、今まで馬術にふれることのなかった方にも馬術大会の雰囲気を経験に味わっていただけるよう配慮しております。

国内トップクラスの選手が出場する本格的競技会でありながら、部班競技まで実施し馬術を始めたばかりのビギナーや子供たちが参加するのに加え、体の不自由な方のためのパラ馬術も併催する競技会というのは、国内では数少なく、我が国の馬術界の発展に重要な役割を担うことが期待される大会です。

現在準備を進めておりますこの大会が大きな成功を収めますために、本趣旨をご賢察いただきまして一層のご支援とご協力を賜りたく心よりお願い申し上げます。



敬 具

2014 年 7 月 吉日



「東京馬術大会」組織委員会

主管：公益社団法人 東京乗馬倶楽部

会 長 原 昌 三



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

THE 60th TOKYO EQUESTRIAN GAMES



馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

第 60 回東京馬術大会

ー 本大会のコンセプト ー

オリンピックで行われる種目で唯一、動物と共に行う競技である“馬術。”

国内トップクラスの人馬が毎回参加し、華麗な演技が期待される上位種目競技から、ビギナーの子供たちが日頃の練習の成果を競い合う部班競技まで。

東京馬術大会ならではの幅広い種目構成で、あこがれのスポーツである「馬場馬術」の世界を、都心において多くの皆様にご披露しようという思いがその名に込められています。

馬術愛好家にその名を知られる歴史ある馬術大会

エキスパートからビギナーまで、参加者数は国内最大規模

国際審判員の起用により選手の国際的活躍を応援する

観客も楽しめる「馬場馬術の祭典」をめざす

ー 60 回大会開催概要（予定） ー

＜日 程＞ 2014（平成 26）年 10 月 25 日（土）・26 日（日） 2 日間

＜予定会場＞ 日本中央競馬会 馬事公苑

住 所：東京都世田谷区上用賀 2-1-1

交 通：小田急小田原線経堂駅より徒歩 20 分

東急田園都市線桜新町駅、用賀駅より各徒歩 15 分

＜主 催＞ 「東京馬術大会」組織委員会

＜主 管＞ 公益社団法人 東京乗馬倶楽部

＜後 援＞ 東 京 都（申請中）

＜公 認＞ 日本馬術連盟（JEF）・国際馬術連盟（FEI）

＜予定競技＞ FEI グランプリ、FEI インターメディエイト I、FEI セントジョージ、
JEF S1 課目、JEF S2 課目、JEF M1 課目、JEF M2 課目、JEF L1 課目、
JEF L2 課目、JEF A3 課目、JEF A2 課目、JEF ヤングライダー、
パラ馬術競技、部班競技（速歩・駈歩）

※ 今回は CDI *** 競技およびインドアアリーナでの競技は実施しません。

（全 21 競技 22 種目を予定）

＜来場見込＞ 約 6, 0 0 0 人

— ご協賛内容のご案内 —

I. 競技スポンサー

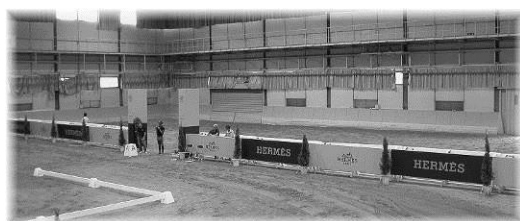
多くの観戦者が期待されるハイレベル競技などに「(御社名等) 杯」と冠をつけ、賞金、賞品などの形でご協賛いただきます。その他プログラム広告掲載、競技開始時に場内放送をいたします。表彰式のプレゼンターもお願いいたします。

① 競技会場内広告

メイン競技会場の壁面等に、広告で彩りを添えていただきます。

※今回はインドアアリーナは競技場として使用いたしません。

■過去の会場バナー広告の様子



エルメスジャパン様 (第 56 回)



香港経済貿易代表部様 (第 54 回)

② 表彰式プレゼンター

メダルや賞品授与等に参加していただきます。

■前回の表彰式の様子



三笠宮杯贈呈の様子



国際審判員の皆様と



ウィナーズキャンターの様子



エルメス杯贈呈の様子



ピアッフェ杯贈呈の様子



プラド杯贈呈の様子





馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

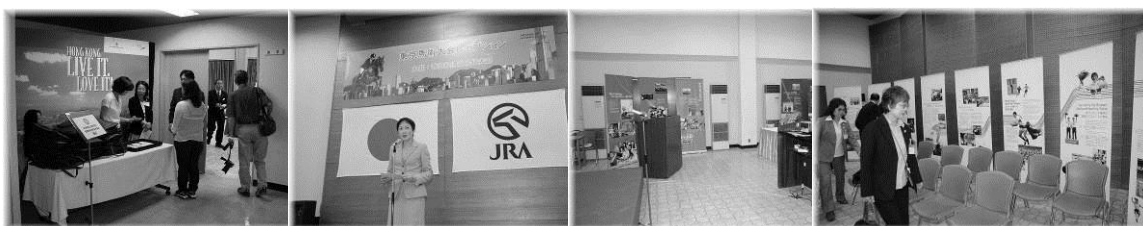
第 60 回東京馬術大会

③懇親会演出

競技初日となる 10 月 25 日（土）の夕方に、JRA 馬事公苑講堂にて催す「懇親会」において、御社取扱商品などを用いた演出等が可能です。

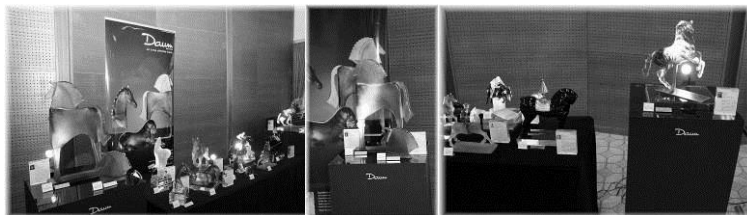
ご来賓、大会役員、選手、参加団体関係者などが 150 名以上参加いたします。

■懇親会会場の様子



↑ 香港経済貿易代表部様
による演出（第 54 回）

Daum 様による演出（第 55 回）
→



④成績表等ロゴ掲載

競技成績表等にご指定のロゴ等の掲載ができます。

※この他詳細につきましては直接ご相談させていただきます。

II. プログラム広告

大会プログラムに御社広告を掲載いたします。

※様式・サイズ等につきましては別紙よりお選びください。

※大会にご協賛をいただく場合は、全てプログラム広告をお願いしております。

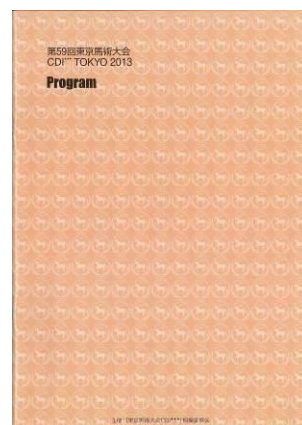
■前回（第 59 回）のプログラム仕様

A4 サイズ モノクロ 64 ページ

1000 部製作

※ 今回は一部にカラーページを予定

（プログラム表紙の様子）





馬を愛し、馬にあこがれるすべての人へ...

第 60 回東京馬術大会

Ⅲ. ブース出店

競技会場周辺ブース出店をしていただきます。なお、ご出店の場合は大会プログラムへの広告掲載をお願いしております。



※ 大会事務局で手配するテント（1.5 間×2 件）や発電機を使用される場合は、手配料としてそれぞれ実費相当分を別途頂戴いたします。

Ⅳ. 競技賞品提供

競技での表彰で、御社扱い製品を副賞としてご提供いただき、大会プログラム、大会受付等にて PR させていただきます。

Ⅴ. その他

これらの他、御社にてご協力いただけることがございましたら事務局までお問い合わせください。

●お申込・お問い合わせ先

「東京馬術大会」組織委員会事務局

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 4-8 公益社団法人東京乗馬倶楽部内

TEL：03-3370-0984

FAX：03-3370-2714

E-mail：edi@tokyo-rc.or.jp

Web：http://www.tokyo-rc.or.jp

第 60 回東京馬術大会

【プログラム広告について】

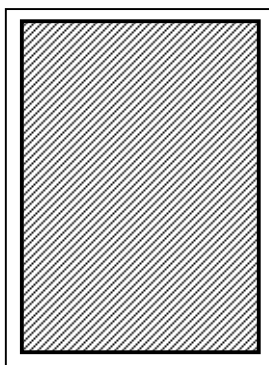
《入稿について》 入稿最終締切日：平成26年 9月 9日（火）

- 完成済原稿については、可能ならばイラストレータ（CS3以下はすべて可）で文字はアウトラインしたデータでの入稿をお願いいたします。
- イラストレータをお持ちでない場合は、各種ソフトでできる範囲にて作業をしていただき、画像等（サイズ：300dpi以上）の広告素材を提出してください。
- 原稿作成に対応できない場合は、その都度御相談いたします。

入稿アドレス cdi@tokyo-rc.or.jp

《広告サイズと料金》

●A4 フチあり（※265mm.×170mm.）



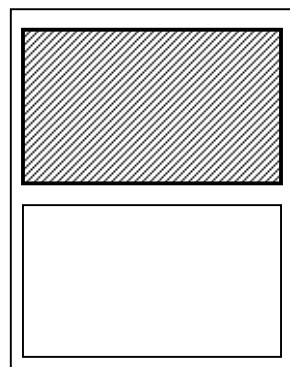
カラー（裏表紙） 500,000 円

カラー（中 頁） 300,000 円

白 黒 100,000 円

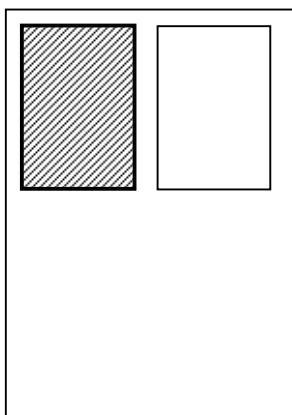
※余白なし（297mm×210mm）での作成とカラー原稿についてはご相談ください。

●A4 横 1/2 頁（130mm.×170mm.）



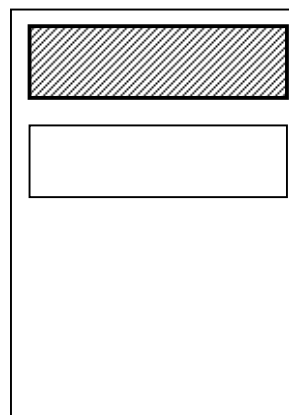
白 黒 60,000 円

●A4 縦 1/4 頁（130mm.×80mm.）



白 黒 30,000 円

●A4 横 1/4 頁（60mm.×170mm.）



白 黒 30,000 円